

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日（中間配当を行う場合）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（お問い合わせ先） 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
単元株式数	100株
単元未満株式の買取請求場所	上記の株主名簿管理人、同事務取扱場所及び同取次所
公告方法	日本経済新聞

【お知らせ】

●株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、上記の株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話（通話料無料） 0120-244-479（本店証券代行部）
0120-684-479（大阪証券代行部）

インターネットホームページ <http://www.tr.mufig.jp/dai kou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



株式会社 昭文社

株式会社 昭文社（証券コード No.9475）

〒102-8238 東京都千代田区麹町3-1 TEL03-3556-8111（代表）

ホームページアドレス <http://www.mapple.co.jp/>



株式会社 昭文社

第48期 年次報告書

平成18年4月1日～平成19年3月31日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに第48期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の業績をとりまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。

当期の出版業界におきましては、出版物販売額は、書籍は前年比で若干ながら上回ったものの、雑誌は前年比で過去最大の落ち込みとなり、依然として厳しい状況が続いております。また、GIS（地理情報システム）業界におきましては、受注競争の激化や価格競争等の厳しい状況が続いておりますが、通信業界における第三代携帯電話への移行やブロードバンド化により、インターネット関連産業での需要は増加してきております。

このような状況の中、当社グループでは、当社グループにおける事業のコア・コンピタンスであるSiMAP（サイマップ：昭文社統合地図情報システム）による地図データベース・ガイドデータベースのさらなる強化、充実に向け、どこにもない「最強のデータベース」の確立を目指し積極的に取り組んでまいりました。また、電子事業のさらなる発展を目指し、7月19日にはモバイル（携帯情報端末）を中心とする「ローカル広告事業」

を展開する100%子会社、『株式会社リビット』を、また9月25日には次世代カーナビゲーションに大きな可能性を持つ高精度3次元道路ネットワークデータを整備・構築し、当社の持つ各種地図コンテンツとともに「カーナビゲーション事業」に本格参入するための子会社『キャンバスマップ株式会社』を設立いたしました。

出版事業におきましては、利便性のある特殊情報を付加した新商品や児童書等の新ジャンル商品を積極的に出版してまいりました。6月には当社初のブックングメディア型月刊誌『たびえる』を創刊しました。また、ガイドブックの最大需要期である3月には、国内ガイドブック『たびまる』の大改訂を行い、日本全国30点を出版いたしました。また、従来から海外で出版されている良書を日本語に翻訳し提供してきておりますが、当期におきましても『世界の絶景1001』や『アートシリーズ』（全10巻）を出版いたしました。しかし一方でWeb等による情報手段の多様化の影響もあり旧年版商品の入替返品が増加したことにより、市販出版物の売上高は伸び悩む結果となりました。

特別注文品では、順調な受注を確保できたことともに、需要の高い震災マップ関連の受注が好調に

推移したことにより、前期を上回る売上高を確保いたしました。

広告収入では、『たびえる』の創刊により、前期を大きく上回る売上高を確保いたしました。

一方、電子事業におきましては、多くの企業において企業内GISの導入が行われ、各社ホームページ上における地図データの採用が以前に比べ大幅に増加し、当社『ちす丸ASP』サービスの提供先が拡大いたしました。これにより当社受注案件も、単なる地図データの提供だけでなく、一般消費者が直接活用できるような機能（例えば不動産の物件検索及び契約締結機能）も含めた形態での受注が増加しており、件数の増加だけでなく、1件あたりの契約額の高額化も進んでおります。このような顧客要望の多様化への対応を行うことができたことで当初予想を超える売上高を確保いたしました。また年度後半には「最強のデータベース構築」の一環として整備してきた『地番データ』『家形データ』も完成し、提供可能となったことも売上高を伸ばす要因となっております。一方、子会社において展開しているモバイルを中心とする「ローカル広告事業」におきましては、サービス提供は開始したものの、課金シス



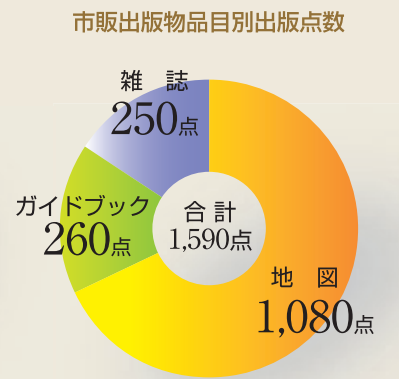
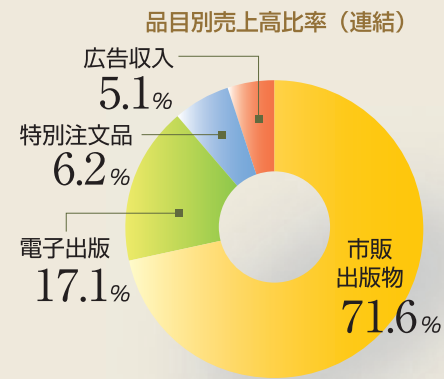
代表取締役社長

黒田 茂夫

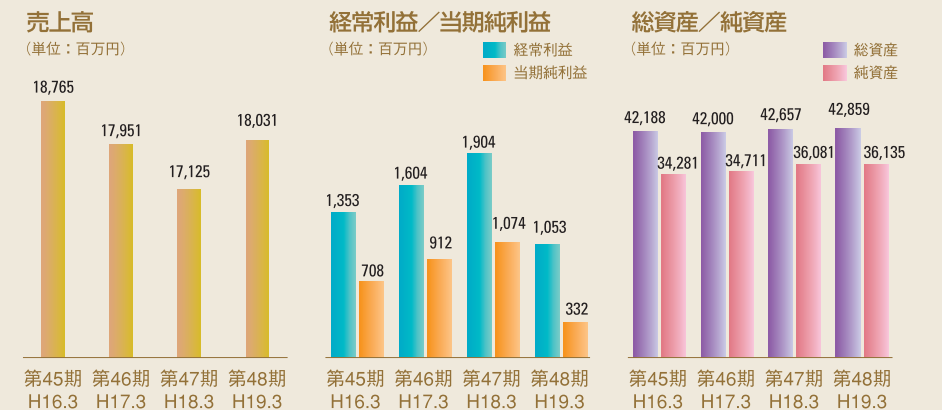
テムの開発が遅れたことにより、売上を計上することはできませんでした。

この結果、全社合計の売上高は180億31百万円（前年同期比5.3%増）、経常利益は10億53百万円（前年同期比44.7%減）となりました。また、当期純利益は3億32百万円（前年同期比69.0%減）となりました。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えすべく、全社一丸となって業務に精励する所存です。なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

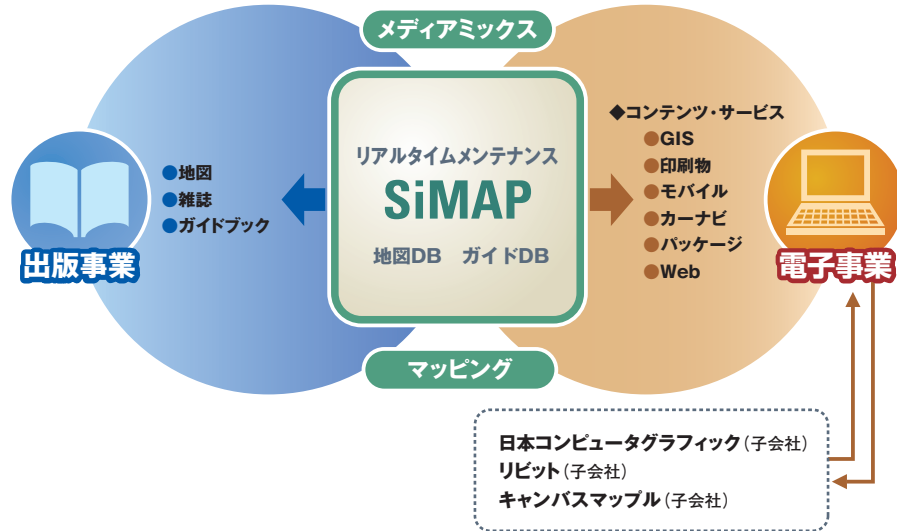


業績の推移（連結）



事業への取り組み

■ SiMAP ワールド



出版事業の状況

当期の出版事業は、業界全体が低迷するなか、テーマを絞った地図やガイドブックの市場への投入とともに、利便性のある特殊情報を付加した新商品や児童書等の新ジャンル商品の出版、当社初のブックینگメディア型月刊誌『たびえる』の創刊など、積極展開を図りました。

地図においては、前期に好評を博した『震災時帰宅支援マップ』の改訂及びワイド版をはじめ、道路交通法の改正に合わせた安全マップ『パーキング便利ガイド』『駐車違反取締重点路線マップ 東京都心版』、『箱根駅伝まるごとガイド』、東京を走るための『ランニングまっふる東京』など、ニーズに合わせたテーマ地図を発売しました。また、ガイドブックでは、国内ガイドブック『たびまる』のシリーズを、平成19年3月に全巻(30巻)一挙改訂するという当社初の試みを行い、ガイドブックの需要シーズンに備えました。

また、前期に参入した児童書の『なるほどkids』シリーズを拡充し、さらに親子で楽しめる知育本『白と黒のプレイングブック』を発売しました。海外出版物の完全翻訳版として『世界の絶景1001』『ザ・ホエールウォッチング』及び『アートシリーズ』(全10巻)を刊行し、書店の地図・ガイドブックコーナー以外への進出を図るとともに、イベント会場や美術館など、本の内容に合わせた書店以外の場所での販売を推進しました。

経営の基本方針

当社は創業以来、「地図をベースに限りない挑戦により変化の時代を拓き、社会に貢献する」という経営理念のもと、顧客のニーズに応えた最高の地図をつくり、もっとも信頼される新鮮な情報と出版物を提供することに邁進してまいりました。

また、「革新を追求」という社是を実践し、今日の地図・旅行ガイドブックを中心とした出版事業を確立してまいりました。

今後も、変化の激しい社会環境のなかで多様化する利用者の要請に応えるとともに、製品の利便性を追求し、よりタイムリーで高品質な製品づくりに取り組むことはもとより、情報の提供形態も出版物にとどまらず、当社のSiMAP(サイマップ：昭文社統合地図情報システム)の地図・ガイドデータベースをもとに電子事業分野への積極的な事業展開を図り、「情報社会の一翼を担う企業」を目指すことを基本方針としてまいります。

電子事業の状況

当期の電子事業は、順調な国内景気を背景に、データやコンテンツの高品質化、営業リソースの増強と営業体制の改変なども奏功し、大幅に業績を伸ばすことができました。

法人向けビジネスでは、ASPサービス(ちず丸)、社内GIS向けデータ提供やガイドデータの提供が好調に推移しました。一方、個人向けビジネスでも、『ちず丸』がポータフォン(現ソフトバンク)で公式コンテンツに採用されました。

新しい取り組みとしては、『MAPPLEデジタル地図データ』において、「建物形状」「番地号」のデータを追加しました。これにより、当社の強みであった道路地図だけでなく、建物形状等を必要とする業務分野においても市場の拡大が期待されます。また、パーソナル・ナビゲーション・デバイス(PND：簡易タイプのポータブル型カーナビゲーション)市場へ本格参入しました。また、『マップルネット』をユーザー参加型の観光&旅行情報サイト『まっふるnet』としてリニューアルしました。今後は利便性ととも収益を期待できるサイトへと進化させていく予定です。

さらに、新規事業への参入のために、ネット広告事業を展開する「株式会社リビット」、カーナビゲーション事業を手掛ける「キャンバスマップル株式会社」を設立するなど、今後の電子事業発展のための先行投資を行った期となりました。

今期の主な出版物

国内ガイドブック『たびまる』のシリーズ全巻を一挙に改訂。発行点数も26から30に拡大！

平成19年3月に、国内ガイドブックシリーズの『たびまる』全巻を一挙に改訂しました。

たびまるは、初めてのエリアに旅行する際にもスムーズに、より楽しめるように、旅のプランニングから現地での遊び方まで紹介したガイドブックです。改訂版は、その土地ならではの遊び方や周遊経路を当社の情報網を駆使して親切にナビゲートしています。また、エリアの全体と特徴スポットなどがひと目でわかる「折り込み地図」を装備するなど、さらに使いやすいガイドブックを目指しました。

ガイドブックシリーズの全巻を同時に改訂



するのは異例で、これにより書店のコーナー占有率の拡大、本格的な旅行シーズンに向けて、お客さまへの『たびまる』のさらなる認知度の向上を図りました。

地図・ガイドブック以外のジャンルへの参入

●海外翻訳本2点+1シリーズ（10巻）を刊行

海外の良書を日本に紹介することを目的に、平成19年3月、翻訳本を刊行しました。

『世界の絶景 1001』は世界10カ国以上で翻訳された絶景案内書、『ザ・ホエールウォッチング』はクジラやイルカを貴重な写真とイラストで解説した写真集&図鑑です。

また、ダ・ヴィンチやゴッホなど日本で人気の高い10人の画家を取り上げた『アートシリーズ』（全10巻）は単なる作品集にとどまらず、画家自身や絵が描かれた当時の文化や社会、政治的背景にまで踏み込んだ画論集です。

これらの翻訳本は長期間、堅実に販売していくとともに、イベント会場やミュージアムなどへも販路を広げています。



●楽しみながら考える力をつける知育本『白と黒のプレイングブック』

子供の創造力を豊かにすると同時に、考える力や集中力、計算力などを養うためのトレーニングブック『白と黒のプレイングブック』シリーズを、平成19年3月より発売開始しました。

本書は、子供の集中力が高まるとされる黒基調（白と黒の2色）としたほか、何度でも消して使えるつくりとなっています。3歳以上の子供が対象で、成長に合わせて初級、中級、上級と、3段階に分かれています。

本書は通販サイトAmazonでの広告展開など、ネット販売にも注力しています。

今期の主な出版物

住みたい街を探すためのガイドブック『どこに住む?東京』を発売！

『どこに住む?東京』は、東京で新生活を始める人が暮らしやすい街を見つけられるように、おしゃれで人気な街や暮らしやすい穴場な街

など、首都圏の通勤・通学路線の中から117駅を選びました。全ての駅にひとり暮らしに欠かせない店舗や公共施設の地図と、暮らしやすさの参考となるガイド情報を掲載しています。



『食』をテーマにした季刊誌『Prost! (プロスト!)』を発売！

『Prost!』は、ドイツ語で乾杯の意味で、『食と料理を極める』男のプレミアムマガジンです。「食」を趣味として探求し、「誰のために作るのか」「献立を立てる」「逸品素材を集める」「調理する」「盛りつける」「味わう」までをトータルに楽しむことを提案します。



『箱根駅伝 走るごとガイド』と『ランニング まっふる東京』を発売！

『箱根駅伝 走るごとガイド』は、お正月の風物詩である箱根駅伝を「観る」「歩く」「応援する」ために役立つガイドです。また、『ランニング まっふる東京』は、東京を走りたいランナーのためのコースマップ&ガイドで、都内23区から実走調査した50コースを厳選しました。ウォーキングコースのガイドとしても活用できます。

地図を10倍楽しむ雑学本『まっふる選書シリーズ』計4冊を発売！

『地図屋しか知らない!? なるほど知図Book びっくり地名読本 東日本』、『同 びっくり地名読本 西日本』、『同 世界のうんちく』、『同 日本のひみつ』の4冊。『まっふる選書シリーズ』は地理・地図に関する世界・日本のさまざまな情報を一挙に集めた雑学本です。



『MAPPLEデジタル地図データ』に2つのオプションデータを追加

●「建物形状データ」を新規コンテンツとして整備

企業や警察を始めとする官公庁を中心にGIS（地理情報システム）の背景地図やカーナビゲーションシステム向けの地図データとして販売していた『MAPPLE10000デジタル地図データ』のオプションデータとして、新たに「建物形状データ」を追加しました。

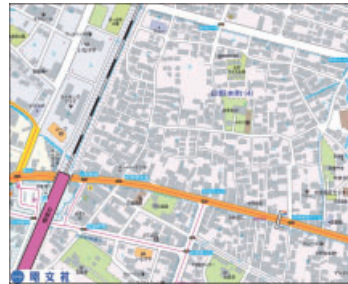
建物形状データとしては、これまで東京都については『MAPPLE2500デジタル地図データ』で整備したデータを提供してきましたが、それ以外の地域においてもMAPPLE10000で提供できるようになり、全国1,200市区町村をカバーした全国規模のデータベースとなります。

本データは都市計画図や航空写真をもとに作成したもので、住宅地図のようなリアルな地図表現が可能になります。これにより、これまでにも様々な分野で使用されていた当社の地図データが、不動産物件管理や顧客管理など家屋に密接に関係する業務へも適応されるなど、さらに需要が高まるものと考えられます。

また、今夏発売予定の『スーパーマップル・デジタルVer.8』でも搭載する（予定）など、当社の様々な商品、サービスに建物形状データを積極的に活用し、商品価値を高めていきます。



MAPPLE10000



MAPPLE10000（建物形状データ）

MAPPLE
アドレスデータ

MAPPLEアドレスデータ（番地号データ）

●「番地号データ」を追加して住所データベースを拡充

当社の今までの住所データベースは、東京都など一部のエリアを除き、住居を特定するための地番や住居番号までのいわゆる「ピンポイント」の検索には対応していませんでした。

当社は空間検索として重要な住所データの充実が必須との考えから、全国の地方自治体や関係省庁への直接取材による情報収集のうえデータ化を行い、これまでは全国1,000万件だったデータベースを約4,500万件に拡充しました。

この番地号データの提供によりGISやカーナビでの高精度な住所検索が可能となるため、当社の地図データがこれまで以上に幅広い業務、サービスで活用されると期待されます。

地図・ガイドデータが新たな分野で採用

●中国や韓国、ヨーロッパなどで人気のPND市場に本格参入

当社は地図を基調としたデジタルデータを様々な形で提供していますが、カーナビ用の『MAPPLE道路ネットワークデータ』を基本にナビゲーションに必要な住所や目標物等のコンテンツをパッケージングにした『MAPPLEナビゲーションパック』が、PND（ポータブル・ナビゲーション・デバイス：簡易タイプのポータブル型カーナビ）の市場へ参入するメーカーに採用されました。

PNDは、現在日本で普及している車に搭載されるカーナビとは異なり、携帯情報端末PDAを使った簡易なナビゲーションシステムで、既にヨーロッパや東アジア、特に中国、韓国ではカーナビ以上に普及しているともいわれています。

日本でもPND市場に参入するメーカーが増えてきており、価格も10万円以下と、カーナビと比較して安価なことから、今後の普及が大きく期待されています。



ユビテル工業株式会社「YERA」

なお、当社のデータを採用していただいたのは、パーソナルコンピュータの販売で実績のある日本ビュレット・バックス株式会社、早くから国内でPND販売を開始した株式会社マイタックジャパン、車載レーダー探知機で国内No.1のシェアを持つユビテル工業株式会社など、いずれも有数の端末メーカーです。

●ニンテンドーDSソフトに搭載

任天堂株式会社が平成18年12月14日に発売したニンテンドーDSソフト『タッチで楽しむ百人一首DS時雨殿』に、『MAPPLEデジタル地図データ』と『MAPPLEガイドデータ』が採用されました。当社の地図データやガイドデータが活用された「ちどりの京案内」モードにて、京都の名所・百人一首ゆかりの地などが検索できたり、クイズ形式での名所当てや目的地までの距離、徒歩での所要時間から消費カロリーの測定なども可能となっています。

ゲームソフト市場において当社のデジタルデータ製品が採用されたのは初めてのことであり、今後も幅広く新たな市場を開拓し、電子事業の拡大を行っていきたく考えています。

©2006Nintendo
地図・ガイド/©昭文社
時雨殿は登録商標です

クチコミ機能を強化したユーザー参加型の『まっぷるnet』をリニューアルオープン

平成18年11月、インターネット上の総合レジャー情報サイト『マップルネット』をリニューアルし、新たに観光&旅行情報サイト『まっぷるnet』(http://www.mapple.net/)としてオープンしました。検索性を高めたいうえ、クチコミ(投稿)機能を充実させたことによって、より使いやすく、より充実した情報を発信するサイトへと生まれ変わりました。

今後も段階的にリニューアル、バージョンアップを続け、これまでの広告塔的な位置づけから、B to Cのサービス事業を視野に、広告掲載やオンライン宿泊予約などを通じて収益を獲得できるサイトへと進化させていく予定です。



『まっぷるnet』(トップページ)

まっぷるnetの当期リニューアル点

① 細分化・階層化されたエリアやテーマを設定して検索性を大幅に向上
日本全国を約1,400の観光エリアに区分するとともに、エリアごとに「温泉→温泉宿→温泉旅館」「グルメ→和食→寿司」など詳細な旅行のテーマを絞り込むことができ、欲しい情報へのアクセスが容易になりました。また、同一のテーマで他のエリアのページに移動できるので、観光地や施設の比較・検討も簡単に行えます。

② 投稿機能によるユーザー参加を促進してコンテンツ内容を充実
従来からのクチコミ評価情報に加えて、「おすすめスポット」や「おすすめテーマ」「おすすめコース」などを、写真とともに投稿できるようになりました。これにより、当社からの一方向の情報のみならず、取材に基づく当社からの情報とユーザーの率直な声がミックスされた、多角的な情報の提供が可能となりました。

③ 印刷して独自のガイドブックとして活用
『まっぷるnet』は、旅行の前段階である情報の収集はもちろん、実際の旅行時にも役立つように、印刷して持ち歩くことを想定しています。気に入ったスポットだけを集めて、表紙や目次をつけた独自のお気に入りガイドブックを作成することもできます。



新規事業へ本格的に参入するために子会社2社を設立

株式会社リビット

—メディアミックスによる情報発信で
ネットのローカル広告事業に進出

平成18年7月、ネット広告市場への参入を目的に、100%子会社の「株式会社リビット」を設立しました。リビットは、これまで当社が手掛けていたパソコン向けのブログ地図サービス「ちず窓」、携帯電話向けのペットゲーム型コミュニケーションサービス「BitPets(ビットペッツ)」の運営にあたりとも、効率的・効果的な広告配信サービスを実現するための基盤の整備を進めました。

そのひとつが、平成19年4月に携帯電話向けにオープンした『リビナビ』です。リビナビは店舗情報を発信する生活エンタメ情報サイトで、地域や客層を絞った発信型広告メディアとして収益を上げていきます。また、リビナビと連動した女性向けのフリーペーパー『meev(ミーヴ)』を創刊(平成19年4月)したほか、今後はECサイトの運営、TVと携帯電話を連動させた広告・情報発信サービスなども展開していく予定です。



キャンバスマップル株式会社

—高精度3次元道路ネットワークデータで
カーナビ市場に新風

カーナビ事業への本格参入を目指して、平成18年9月、モバイルマッピング株式会社との共同出資により、「キャンバスマップル株式会社」を設立し

ました。

カーナビ業界ではITS(高度道路交通システム)を見据えた次世代のナビゲーションシステムへの対応が課題となっていますが、キャンバスマップルは現在のカーナビで使用されている緯度経度のみの2次元道路ネットワークデータではなく、緯度経度に高さを加えた3次元道路ネットワークデータを整備することで、精度の高いポジショニングデータ、カーブ・勾配の詳細情報などの提供が可能となり、より安全・安心で、CO₂排出量を考慮した経路案内により環境保護にも対応できるナビゲーションシステムを実現します。

道路ネットワークデータの整備・構築にあたっては、全国の道路約120万kmを専用の計測車で実走し、誤差の少ない高精度な3次元道路ネットワークデータを取得していきます。



高精度計測システムと高解像度カメラを搭載した車両

商品紹介 <今期に出版及び受注した商品>

地図



ガイドブック

雑誌



特別注文品

電子出版



配当に関するご案内

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして位置づけており、利益配分につきましては業績や経営環境を勘案しながらも、安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。当期の期末配当につきましては、厳しい企業業績のもと、今後の電子事業における積極的な事業展開のための内部留保を重視しながらも上記の方針を踏まえ、普通配当を前期同様1株につき20円とさせていただきます。

株主優待のご案内

当社では、当社の事業についてより深くご理解いただきたく、株主優待制度として、100株以上ご所有（3月末現在）の株主様に、3,000円相当の当社商品を進呈しております。

当社では、出版事業を伸ばすべく新ジャンル進出へ挑戦して参りましたが、本年は、それらの中から、『Prost！（プロースト！）』『大人の旅 Bravi（ブラーヴィ）』の各最新号及び『四季をおいしく食べる和のおかず』ならびに株主様のお届住所に該当する地域の『ライトマップル』の計4冊をお送りいたします。

なお、株主優待品は7月上旬の発送を予定しております。

《株主優待のお問い合わせ》
株主優待事務局 0120-227-996
(9:00~17:00/土・日・祝日を除く)



連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	18,786	19,532
固定資産	24,072	23,124
有形固定資産	11,001	10,979
建物及び構築物	3,932	4,115
土地	6,378	6,378
その他	689	485
無形固定資産	10,394	9,026
データベース	9,744	8,601
その他	649	425
投資その他の資産	2,676	3,118
投資有価証券	2,317	2,741
その他	588	600
貸倒引当金	△229	△223
資産合計	42,859	42,657
(負債の部)		
流動負債	5,772	5,041
固定負債	951	1,360
負債合計	6,723	6,401
(少数株主持分)		
少数株主持分	-	174
(資本の部)		
資本金	-	9,903
資本剰余金	-	10,708
利益剰余金	-	15,448
株式等評価差額金	-	926
為替換算調整勘定	-	8
自己株式	-	△914
資本合計	-	36,081
負債、少数株主持分及び資本合計	-	42,657
(純資産の部)		
株主資本	35,146	-
資本金	9,903	-
資本剰余金	10,708	-
利益剰余金	15,448	-
自己株式	△913	-
評価・換算差額等	710	-
その他有価証券評価差額金	699	-
為替換算調整勘定	11	-
少数株主持分	278	-
純資産合計	36,135	-
負債純資産合計	42,859	-

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	18,031	17,125
売上原価	12,126	10,806
売上総利益	5,905	6,318
販売費及び一般管理費	4,842	4,366
営業利益	1,062	1,951
営業外収益	83	64
営業外費用	92	111
経常利益	1,053	1,904
特別利益	36	63
特別損失	208	144
税金等調整前当期純利益	881	1,823
法人税、住民税及び事業税	581	713
法人税等調整額	14	43
少数株主損失	46	8
当期純利益	332	1,074

連結株主資本等変動計算書 当期 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日 残高	9,903	10,708	15,448	△914	35,146	926	8	935	174	36,255
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△333		△333					△333
当期純利益			332		332					332
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)						△226	2	△224	103	△120
連結会計年度中の変動額合計	-	-	△0	1	0	△226	2	△224	103	△120
平成19年3月31日 残高	9,903	10,708	15,448	△913	35,146	699	11	710	278	36,135

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	472	2,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,354	△2,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△539	△968
現金及び現金同等物の減少額	△2,422	△863
現金及び現金同等物の期首残高	11,067	11,931
現金及び現金同等物の期末残高	8,645	11,067

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	17,201	18,538
固定資産	24,605	22,915
有形固定資産	9,855	10,081
無形固定資産	10,241	9,226
投資その他の資産	4,509	3,607
資産合計	41,807	41,453
(負債の部)		
流動負債	5,129	4,644
固定負債	428	601
負債合計	5,557	5,245
(資本の部)		
資本金	-	9,903
資本剰余金	-	10,708
資本準備金	-	10,708
利益剰余金	-	15,584
利益準備金	-	244
任意積立金	-	13,100
別途積立金	-	13,100
当期末処分利益	-	2,240
株式等評価差額金	-	926
自己株式	-	△914
資本合計	-	36,207
負債資本合計	-	41,453
(純資産の部)		
株主資本	35,550	-
資本金	9,903	-
資本剰余金	10,708	-
資本準備金	10,708	-
利益剰余金	15,851	-
利益準備金	244	-
その他利益剰余金	15,607	-
別途積立金	13,100	-
繰越利益剰余金	2,507	-
自己株式	△913	-
評価・換算差額等	699	-
その他有価証券評価差額金	699	-
純資産合計	36,249	-
負債純資産合計	41,807	-

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	17,367	16,527
売上原価	11,723	10,552
売上総利益	5,643	5,974
販売費及び一般管理費	4,323	4,105
営業利益	1,320	1,868
営業外収益	76	51
営業外費用	38	34
経常利益	1,359	1,886
特別利益	36	7
特別損失	201	24
税引前当期純利益	1,194	1,869
法人税、住民税及び事業税	577	709
法人税等調整額	16	41
当期純利益	600	1,117
前期繰越利益	-	1,123
自己株式処分差損	-	0
当期末処分利益	-	2,240

株主資本等変動計算書

当期(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					利益剰余金合計	
平成18年3月31日 残高	9,903	10,708	10,708	244	13,100	2,240	15,584	△914	35,281	926	926	36,207
事業年度中の変動額												
剰余金の配当						△333	△333		△333			△333
当期純利益						600	600		600			600
自己株式の取得								△0	△0			△0
自己株式の処分						△0	△0	1	1			1
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										△226	△226	△226
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	267	267	1	268	△226	△226	41
平成19年3月31日 残高	9,903	10,708	10,708	244	13,100	2,507	15,851	△913	35,550	699	699	36,249

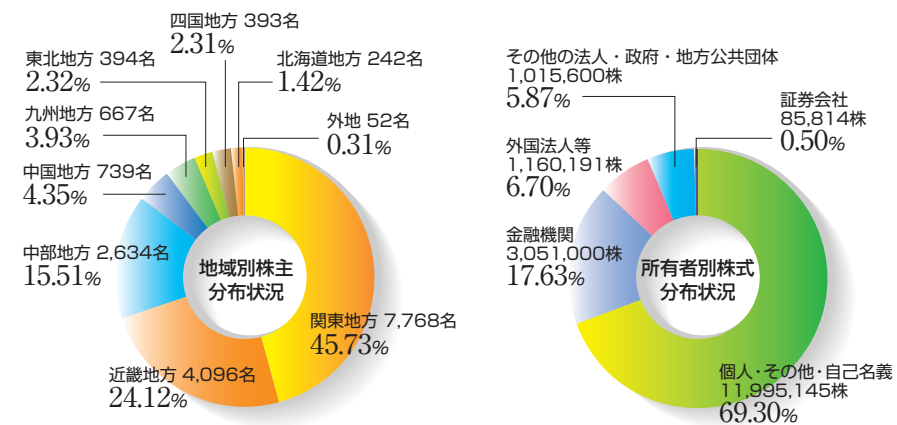
(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

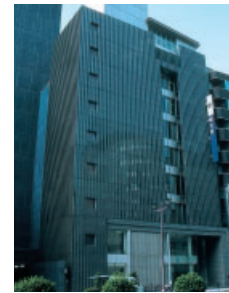
発行可能株式総数	57,000,000株	
発行済株式の総数	17,307,750株	
株主数	16,985名	
大株主の状況		
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
黒田敏夫	3,574 千株	21.45 %
黒田茂夫	1,699	10.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	976	5.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	772	4.63
昭文社員持株会社	739	4.44
株式会社昭文社	648	3.89
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505019	396	2.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	246	1.48
エスジーエスエスエスジーピーティールクス株式会社	201	1.20
株式会社ファウンダー・マップル	180	1.08

(注) 1. 出資比率は自己株式(648,520株)を控除して計算しております。
 2. 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数の全ては、信託業務に係るものであります。
 3. 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数の全ては、信託業務に係るものであります。

株式の分布



会社概要 (平成19年3月31日現在)



- 会社名 株式会社 昭文社
- 創業 昭和35年5月
- 資本金 99億387万円
- 従業員数 478人
- 本社所在地 東京都千代田区麹町3-1
- 事業内容 地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売、ならびにこれらに関連するデジタルデータベースの企画・制作・販売

役員	
代表取締役社長	黒田茂夫
常務取締役	奥野暁生
取締役	大野真哉
取締役	内田次郎
取締役	熊谷隆司
取締役	岡本芳信
常勤監査役	打出外禧
監査役	関聡介
監査役	桑野雄一郎

事業所

- 本社 東京都千代田区
- 大阪支社 大阪市淀川区
- 制作本部 東京都江東区
- 札幌営業所 札幌市中央区
- 仙台営業所 仙台市若林区
- 浦和営業所 さいたま市南区
- 千葉営業所 千葉市中央区
- 立川営業所 東京都立川市
- 横浜営業所 横浜市西区
- 金沢営業所 石川県金沢市
- 名古屋営業所 名古屋市千種区
- 京都営業所 京都市中京区
- 広島営業所 広島市中区
- 福岡営業所 福岡市中央区
- 東京商品センター 東京都足立区
- 大阪商品センター 大阪府摂津市
- 埼玉製本センター 埼玉県大和町

関係会社

- 日本コンピュータグラフィック株式会社
千葉県市原市
事業内容 マッピング・コンテンツサービス事業及びシステムソリューション事業

株式会社リビット

- 東京都千代田区
事業内容 ローカル広告メディア事業、ローカル広告企画・マーケティング事業及びWEB・モバイル広告メディア事業

キャンバスマップル株式会社

- 東京都渋谷区
事業内容 日本全国の1/500高精度3次元道路ネットワークデータの整備・構築、及び同データを活用した次世代ナビゲーション用地図ソフトウェアの開発・企画制作・販売

IR情報も充実のホームページ

昭文社のホームページは、株主・投資家の皆様に向けてIR情報を豊富に盛り込んでいます。ニュースリリースによる最新情報や財務情報もご覧になれます。また、年次報告書のバックナンバーや株価情報も盛り込んでいますので、ぜひアクセスしてください。

<http://www.mapple.co.jp/>

